

有限会社東御河屋製菓

愛知県新城市

<https://tomikawaya.jp/>



店舗概要

創業年 1930年(昭和5年)
売場面積 211.6㎡(64.1坪)
※本支店合計
従業員 18.0人※本支店合計
営業時間 8:30~19:00
定休日 無休

商品構成

・和菓子 90.0%
・洋菓子 10.0%

経営方針

笑顔ひろがる愛される菓子づくり

～従業員・お客様・地域みんなの笑顔～

新城エリアでは種類・数量ともに一番豊富で安心の和菓子店

[豊富な品揃えと地元の特産品や歴史を使った品揃えで地元住民の心を掴む]

昭和5年先代が興した小さなせんべい屋がとみかわやの原点。現在の経営者である二代目が時代の大きな変化に対応し、地域の皆様に愛される菓子店を目指し、品揃えと接客を充実させ3支店を展開する他、地域の商業施設や食品スーパーでも当店の菓子を取扱うまでに至っている。豊島本店の裏にお菓子の製造工場がある。

当店のお菓子はとにかく種類が豊富。中でも栗が丸ごと入った「本宮の森」は代表的なお饅頭となっている。お正月の花びら餅、端午の節句ではかしわ餅やチマキ、お彼岸にはおはぎなども並ぶ。更に地域のお客様に喜んでもらえるお店にしたいと洋菓子の製造販売も始めた。「てまきかすてら」のような当店オリジナル新製品も開発しており、時代に合わせたお菓子を地域に提供している。「山路 木守(きまもり)」「奥三河はなまるもち」「大海ほうか(チーズ・いちご)」「鍋づる万灯焼」「本宮の森」等、地元の自然や歴史をテーマにしたお菓子も開発し、地元の期待に応えている。このような商品づくりを支えているのが、創業88年の菓子づくり技術とこだわりである。

〔来店客を楽しませる店頭での接客と季節に応じたイベント〕

それぞれの店舗には長年勤務しているベテラン販売員が複数名在籍しており、さりげなくお客様に合わせた商品提案やお客様が目をつけている商品の情報提供等を行い、販売に繋がっている。経験の浅い販売員もベテランの対応を現場で学び実践している。

各店舗では季節の飾り付けはもちろん、お盆フェア・敬老の日・大創業祭等、季節に応じたイベントを開催している。杉山店と牛川店では店内にギャラリースペースを設けており、予約制で地域住民の作品発表の場に提供している。現在は予約待ちの状態であり来店客の確保に確実に貢献している。杉山店にはピアノも設置されており、地域で活躍する音楽ユニットの「さわやかコンサート」も開催されている。各店舗が周辺住民の交流場所となっていることが分かる。

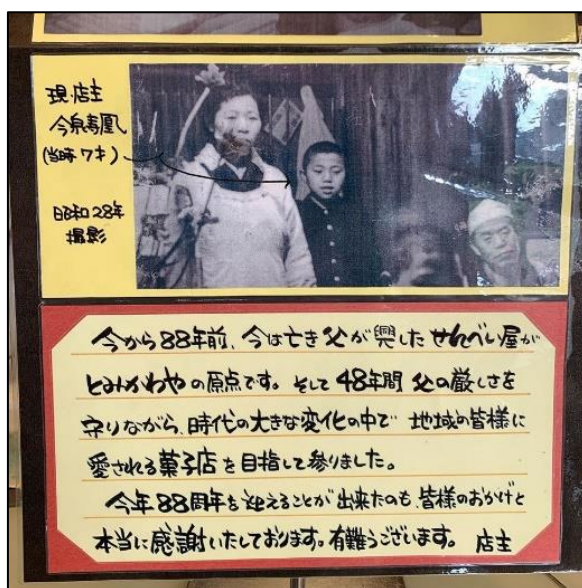
自社ホームページでは定番商品の紹介と販売を行っているが、当店の最新情報はブログとフェイスブックとインスタグラムで紹介されている。また、開催するイベントに応じて、DM ハガキでお客様の来店を促している。

〔産学連携によって新たな需要を開拓する共同商品開発〕

愛知大学地域政策学部と中日本高速道路株式会社及び中日本エクシス株式会社と連携して、新城市の地域資源を活かした和菓子「からくり姫だんご」を共同開発し、販売している。この共同開発は、愛知大学豊橋キャンパス地域政策学部が地域貢献事業の一環として、学生グループ「みちまるくん Lab(ラボ)」を立ち上げスタートしたもので、長篠設楽原 PA のコンセプトである「戦国」にマッチし、「新城市をもっと知ってもらおう」という学生たちの思いを乗せて新たな商品が開発された。

商品名： からくり姫団子（新城市の特産品がそれぞれ詰まった3種類のくずもち団子）
○八名丸(やなまる)館 ○新城茶と小豆 ○干し柿チーズ

2019年には県内大学4校のデザイン系学部学生とデザイナーと連携して、デザイン性が高い商品の開発を行った。パッケージや包材を変更して「奥三河・はなまるもち」が誕生している。



創業祭で使用した当店の歴史と御礼の看板



愛知大学と共同開発した商品の販売風景